

# 平成24年度 活動状況

特定非営利活動法人 地域学習プラットフォーム研究会

## 富山市シルバー情報サポータ活動

ICTを活用して高齢者の情報活用や社会への関心を高め、生きがいを創出するシルバー情報サポータ活動を継続して活動しています。

### 「ふるさとアプリ (Twitter)」

サポータ及びシルバーが、高齢者向けの専用Twitterアプリを使用して、iPhone、iPadの「つぶやき」アプリによる情報発信を行っています。

今年度は、つぶやきアプリのバージョンアップを行い「拍手」「有難う」ボタンを追加して手軽な意思表示手段、簡単・きれいな写真添付、未読つぶやきの表示順の変更、メンバーのつぶやきアプリの使用頻度の把握など機能改善を行いました。また利用者の要求に応えiPadMiniにも対応しました。



### 「シルバー情報サポータ会」

サポータが主体となり、シルバー情報サポータ会を運営しています。

月に一度の全員での交流会や、研修会を開催しました。

また、iPhone等の使い方やメンバー間の顔見世交流を狙いとしてICT茶論（ICTサロン）を月2回のペースで実施して、参加者から好評を得ています。

また、近隣の市の包括支援センターから、iPhone、iPadの住民への利用促進に関する出前講座の要請を受け、シルバー、サポータの面々が自分たちの体験を通じて対応しました。



## 「全国の子どものための職業観を育むe手仕事クラウド図鑑」 普及啓発

前年度に引き続き、各地域の市民塾と共同で手仕事のコンテンツの整備及び、これらのコンテンツ教材を活用した体験学習を自主事業として実施しました。

### ◆ e-手仕事クラウド図鑑 <http://shiminjuku.org/teshigoto/>

平成24年度では以下の4教材を整備して、現在では、63のコンテンツが活用できるようになりました。

地区	職業	取材先	概要
尾道	もみぢ饅頭	高津堂 さん	明治39年から製造を始めて一代限りで途絶えていたもみぢ形焼饅頭。100年後、三代目が初代の焼き型を復刻し、日にちがたっても柔らかい生地とほどよい甘さのあんにこだわった『元祖もみぢ形焼饅頭』を復活した。
熊本	雑草織	今和泉俊子さん	雑草織といわれる、熊本の道端に自生する草木の繊維を布に織り、墨や柿渋で染めて自由で斬新な服や小物を創作されている
富山	城端蒔絵	小原 好喬さん	不可能と言われた白漆を門外不出の秘法によって鮮やかに発色させる城端蒔絵。その技法を一子相伝で400年守り続けている。
	楽器の制作	嶋 悦広さん	「弦楽工房ヱレ」での楽器の制作。 もともと弾くのが好きだった嶋さん、23年前、友人と楽器作りを見に行ったのを機に、その師匠に習う、「楽器は50年くらいたないと、その楽器が持つ音が出ない」と言う。



もみぢ饅頭



雑草織



城端蒔絵



楽器の制作

### ◆ 子ども取材体験学習

各地域で、子どもたちが手仕事職人さん取材する体験学習を実施して実践事例集に編集しました。

(1) 和歌山では、

特定非営利活動法人 市民の力わかやま事務局が、平成24年8月20日(木)、加太の少年自然の家で開催された、福島の子供たちに、のびのびと和歌山で楽しい夏休みを過ごしてもらう趣旨のもと「にんにこニコニコ夏休み」という子どものキャンプに合流しました。

そこで、平成23年度作成e手仕事図鑑「太鼓づくり」(尾崎俊哉さん)を使って、道本みどり氏が指導者となり、小学4年生：5名/小学5年生：4名/小学6年生：2名、中学生：6名(計17名)に体験学習を行いました。

(2) 富山では、

富山インターネット市民塾が、平成24年11月17日、18日の射水市児童クラブ連合会新湊支部の能登宿泊事業に同伴して、参加した小学生45名に手仕事図鑑の幾つかを見せての体験学習を行いました。

数多くの教材を制作した泉田正彦さんが指導者となりグルー別の参加型としたので子供たちから沢山の意見や、手仕事とか・職人ということが伝わったように感じたとの声が聞けました。



和歌山地区での体験学習の様子

富山地区での体験学習の様子

◆ **指導者向けeラーニング教材**

これから、e手仕事図鑑を使って体験学習を実施しようとする指導者のためのeラーニング教材を制作しています。指導要領、各地域での体験学習の報告を掲載しています。平成24年度は、和歌山インターネット市民塾、富山インターネット市民塾での体験学習の成果を追加しました。



◆ **第14回朝日のびのび教育賞の受賞**

朝日新聞社の第14回「朝日のびのび教育賞」を受賞しました。

全国から応募のあった134団体の中から地域と連携しながら継続している活動や、学校の授業や課外活動での優れた取り組みとして選ばれました。

2月21日(木)に各地の市民塾を代表して、富山地区で賞の贈呈を受けました。



## eポートフォリオ 研究ワーキング

前年度に引き続き、一人ひとりの学びの積み重ねを記録し、積極的に社会に生かすeポートフォリオ活用モデルを開発するため、研究ワーキングを開催しました。

文部科学省の「社会教育による地域の教育力強化プロジェクトの事業の一部を担当しました。

---

### ■ 第1回 地域eパスポート研究協議会 (eポートフォリオ研究ワーキング部会を同時開催)

【日 時】 平成24年9月19日(水) 9:30～11:00

【場 所】 富山県民会館706号室

【議 題】 (1) 事業実施計画について

(2) 地域人材の認定について

(3) その他

【要 旨】

- ・文部科学省より採択の内示をうけた「社会教育による地域の教育力強化プロジェクト」の事業実施計画の全体像について、山西代表から説明があった。
- ・事業実施内容と、今後の取り組みのねらい・効果について説明を行った。  
また、取り組みを評価、検証していく際の課題について討論した。

- ・今後の活動に際して、課題や意気込みをeパスポート取得者を交えて意見交換会を行った。

---

### ■ 第2回 地域eパスポート研究協議会 (eポートフォリオ研究ワーキング部会を同時開催)

【日 時】 平成25年2月21日(木) 16:00～17:25

【場 所】 富山市牛島新町 タワー111ビル21階会議室

【議 題】 (1) 試行実施状況の経過経緯報告

(2) 地域人材の認定に関する認定会

(3) 実証研究のまとめ

(4) その他

【要 旨】

- ・事業の試行実施状況の経過について、事務局より報告を行った。
- ・地域人材認定では平成24年度第二期ICTふるさと学習推進員認定講座を受講した3名が対象となり、認定を受けた。
- ・今後、地域人材を認定していくにあたって、評価方法や基準に関して残る課題について討論した。
- ・事業のねらいやその効果を上げるための方策、また活動を継続するための課題について、意見交換を行った。

---

## 地域横展開の実践「市民塾サミット」

第5回の市民塾サミットを、尾道インターネット市民塾のホスト役で、平成24年7月22日、23日、尾道市公会堂別館で「2012インターネット市民塾サミット in尾道」として参加者 XXで開催しました。

---

### 第1部 ■ e手仕事協働プロジェクト会議

1. 平成23年度までの成果について
2. 平成24年度の取り組み(案)について
3. その他 10分

### 第2部 ■ 2012インターネット市民塾サミット in尾道

1. 基調講演 『民俗文化財の伝承』尾道市文化財保護委員長 寺岡 昭治氏

## 2. 報告、課題提起、提言

(1) 国の生涯学習政策とICT活用 『教育の情報化の推進について』

文部科学省生涯学習政策局参事官（学習情報政策担当）新井 孝雄氏

(2) 学会発表報告

『複数地域間の地域情報化を促進するプラットフォームに関する一考察』

ーインターネット市民塾活動における地域間協働の取り組みからー

慶應義塾大学メディアコミュニケーション研究所准教授 高田 義久氏

(3) 各地域における新しい取り組みなどについての報告

3. 全体協議 これからのインターネット市民塾の役割とは

4. 尾道宣言

